

# 夢をかなえる力



(上)分秒の争いを競うレースのファンが集まるイベントはめずらしい。飛行機のコックピットやインディカー、レーシングバイクが展示されたギャラリーコーナーでは記念撮影も行われ、憧れのレーサーに間近で接することができるので子ども大人も興奮気味。  
(右)前半はスタイリッシュなレザージャケット姿で登場。



**TAKAAKI NAKAGAMI**  
「スカイスポーツの啓蒙を兼ねた活動に力を入れるという。後進の育成という点では佐藤も中上も世界基準を早いうちに体験することが大事だと意見が一致した。」

高級時計メーカーのブライトリングは12月8日、世界最高峰のレースで活躍する3人のレーサー、室屋義秀、佐藤琢磨、中上貴晶によるユニット「ジャパン・レーサーズ・スクワッド」(以下、JRS)初のトークイベントを開催した。会場には大人から子どもまで招待された500人のファンが来場し、レースにまつわるエピソードや夢をかなえる力について語る3人の話に聞き入った。

スクワッドとは映画、航空、探検、スポーツなど様々な分野のプロが集まり夢や目標を分かち合おうというブライトリングが提唱するプロジェクト。JRSに参加するのは、エアロバティックパイロットであり国内唯一のエアレース第一着者の室屋、世界3大自動車レースのひとつインディ500で日本人初優勝の快挙を遂げた佐藤、メンバー最若手ながら、やはりオートバイレースの最高峰モトGPに参戦するただ1人の日本人である中上の3人だ。レースのジャンルは違えども、いずれも世界最速の男達である。JRSのミッションとして3人は後進の育成や文化・環境づくりに取り組んでいる。特に次世代を担う子ども達には、挑戦することの大切さを伝えていくという。



**YOSHIHIDE MUROYA**  
「今回のテーマの「夢をかなえるにはどうすればいいか」の質問に室屋は「自分の好きなことは続けられるもの。あきらめずコツコツと続けていけばやがて雲が晴れてくるし、手を差し伸べてくれる人が現れる」、佐藤「不可能ことはない。自分の気持ちひとつ。何かをみつけて挑戦し続けて欲しい」、中上「スポーツに限らず人生は一度きり。ミスをしていい。色々なことに挑戦を」と答えた。最後の「夢は何歳まで見ていいの?」という質問には佐藤が「夢を見るのに年齢は関係ない。僕はまだまだ夢ばかり見ている」と答え締めくくった。

今回のテーマの「夢をかなえるにはどうすればいいか」の質問に室屋は「自分の好きなことは続けられるもの。あきらめずコツコツと続けていけばやがて雲が晴れてくるし、手を差し伸べてくれる人が現れる」、佐藤「不可能ことはない。自分の気持ちひとつ。何かをみつけて挑戦し続けて欲しい」、中上「スポーツに限らず人生は一度きり。ミスをしていい。色々なことに挑戦を」と答えた。最後の「夢は何歳まで見ていいの?」という質問には佐藤が「夢を見るのに年齢は関係ない。僕はまだまだ夢ばかり見ている」と答え締めくくった。

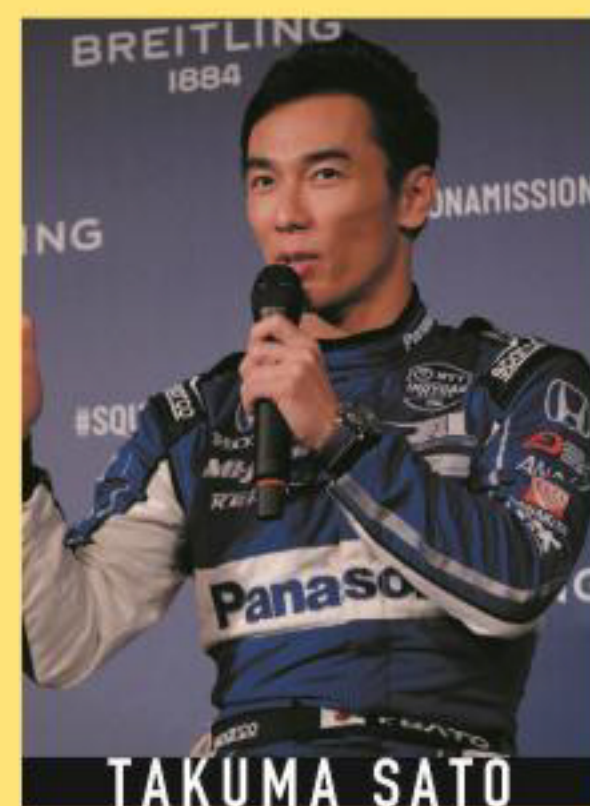
この日訪れた子どもたちの胸には、今ごろ、大きな夢が膨らんでいることだろう。夢を追い続けることが人生にどれだけ豊かな時間をもたらしてくれるのか。ジャパン・レーサーズ・スクワッドの3人の言葉は我々大人の胸にも心強いエールとなって響いた。

ベクトルしているという佐藤は、「周りに感謝することが最も大切」だという。さらに室屋は「若いうちはなかなかわからない。自分がはじめてゾーンに入るという経験をしたのは2017年」と焦る必要はないと説いた。

最後は来シーズンの話題へ。レッドブルエアレースで有終の美を飾った室屋は次なるステージへの準備を、インディ2回の優勝をあげた佐藤はさらなる飛躍を、怪我に苦しめられた年となった中上は雪辱を、それぞれが固く

気になる今回のスクワッドイベントについて中上は「バイク、車、飛行機が同時にスタートするイベントをやってみたいという希望を口にした」。

後半のタイトルはドリームセッション。小学生から高校生までの子どもたちがメンバーに質問する形式で進められた。まずは職業について「スピードは怖くないのか」の質問には、最高速が350kmにも達するバイクを駆る中上は「新幹線にしがみついているようなものだが、慣れてくれば200、300kmでも景色は写真のように止まって見える」と驚きの回答。「剣道をやっているがプロが無い」と進路に悩む子には室屋が「それならば剣で勝負できる世界を自分で作つたらどうか」と提案。トップを極めたものならではの説得力や時にユニークな回答に子どもたちは真剣に聞き入っていた。



**TAKUMA SATO**



## PREMIER B01 CHRONOGRAPH 42 WHEELS & WAVES LIMITED EDITION

プレミエ B01クロノグラフ 42 ホイールズ & ウエーブズ リミテッド エディション

1940年代に製造された初代プレミエを現代のエレガントで再解釈した新作プレミエ。WW&Wはその名の通りバイクとサーフィンという2つのスポーツとの強い絆を示すスペシャルモデル。シックで上品なアンズラサイトカラーのダイヤルに配されたゴールドの時分針とレッドのクロノグラフ針が印象的。日本では国内4店舗のブライトリング プティックのみの取扱い。自動巻き、ケース径42mm、SSケース、スバックストラップ、93万円＋税、世界限定500本

イタルに配されたゴールドの時分針とレッドのクロノグラフ針が印象的。日本では国内4店舗のブライトリング プティックのみの取扱い。自動巻き、ケース径42mm、SSケース、スバックストラップ、93万円＋税、世界限定500本



## AVENGER CHRONOGRAPH 43

アベンジャークロノグラフ 43

今秋、第3世代へと家紋を深げたアベンジャー。しっとりとした手触りのポリッシュ仕上げとサテンのコンビの外観はモダンなイメージを強調しながらも、グローブ着用時の操作を想定した大型リュースとライダータブ、視認性を

を高めたダイヤルなど空のパートナーとしての機能は、さらに進化。人間工学に基づいたデザインにより、様々な環境下でも快適な装着感を味わえる。自動巻き、ケース径43mm、SSケース&プレスレット、60万8000円＋税



## CHRONOMAT JSP

クロノマット JSP

1984年の初代クロノマット誕生時に創案された、ライダータブ付きのサテン仕上げベゼルを搭載した、クロノマット JSP。両サイドに蓄光塗料を配したインデックスにより、昼夜を問わず最高の視認性を実現している。

抜群の仕上げを誇る44mmケースは500m防水を備え、内部にはもちろん自社製キャリバー01を搭載する。日本に向けた渾身のスペシャル・エディション。自動巻き、ケース径44mm、SSケース&プレスレット、86万円＋税